

経営概要

白砂 卓巳

◆代表者・所在地

白砂 卓巳 山梨県北杜市

◆経営規模

果樹（リンゴ等）0.8ha、水稲 0.4ha

◆従業員数

家族労働1名

◆事業内容

果樹と水稲の生産・販売に取り組む。



代表の白砂氏

1 現状と相談までの経緯

果樹と水稲を生産し、道の駅の直売所を中心に販売を行っている。

近年中に、経営規模拡大と法人化を検討しており、**法人化による税務面や労務面でのメリット・デメリットについて情報を収集していた。**

こうした中、日常的に付き合いのある普及指導員から、「山梨県農業経営・就農支援センター（以下、「支援センター」という。）」を紹介され、相談した。

2 相談内容

法人化による事務作業の増加や、社会保険料の事業主負担などの経費負担の発生を懸念している。

また、地域の特色を活かした個人直売場の設置や観光農園の運営を検討しており、事業実施に向けて必要なことや資金繰りについて悩んでいる。

現在の経営状況に対する診断とアドバイス、および法人化に向けた支援を受けたい。

3 支援内容

■ 支援チームの編成

法人化に向け、経営診断の実施、税務シミュレーションなどについて、専門家の支援が必要であることから、普及指導員による相談内容の聞き取りを行った後、専門家による支援チームを編成した。

■ 専門家派遣を通じた助言の実施

普及指導員が中心になり、専門家との調整を実施した。相談者の経営の法人化を図るため、中小企業診断士や税理士等の専門家派遣を通じて、法人設立に向けた支援を行った。

支援チーム構成員：

中小企業診断士、税理士、普及指導員



普及指導員による相談内容の聞き取り

・今後の経営の展開について助言（中小企業診断士）

個人直売場の設置に向けた意見交換・聞き取りを行い、**必要な設備投資や人材等の課題の整理、県内外の優良事例の紹介等**を行った。

・法人化に向けた助言（中小企業診断士）

法人化のメリット・デメリットの説明や法人化の目的を明確化するよう助言を行い、税理士派遣による法人化後の経営シミュレーションを行うよう助言した。

・法人化した際の経営シミュレーションの実施（税理士）

現在の経営を**法人化した際の税金や社会保証料等のシミュレーションを行う**とともに、全国の企業の経営指標を見ながら、黒字企業の経営状況を示し、**法人化するメリットが生まれる経営の分岐点について説明**した。

■ 支援を受けて・・・

専門家のアドバイスを受け、**法人化に向けて取り組むべきことが明確になり、経営規模を拡大していくために必要な設備投資や資金等が確認できた**ことで、今後やるべきことの見通しが立った。

■ 今後の展開

農地周辺が観光地という立地条件を生かして、個人直売場の設置や観光農園の運営を目指していく。

また、高齢化により地域の農業従事者が減少しているため、地域の農業を継承する者が増えるよう、安定的な営農モデルを確立していく。



個人直売場の設置予定場所

喜びの声

ぼんやりとした経営ビジョンはあったが、今まで何から手をつければよいかわかりませんでした。

支援を受けて、今後のスケジュールや目標、課題等が明確になり大変助かりました。

引き続き、支援センターにアドバイスを受けながら法人化や経営規模の拡大を目指していきます。

専属スタッフ所感

相談者のりんごは8月のお盆の時期から収穫可能で、圃場の周辺には地域で多くの観光客が立ち寄る道の駅やワイナリーがあります。

今後、恵まれた立地条件を活かし、観光農園として運営を行っていきながら、経営規模の拡大と法人化を進めていけることを楽しみにしています。

<支援機関> 山梨県農業経営・就農支援センター

組織概要

■ 相談窓口

【経営相談】

住 所：山梨県甲府市丸の内1丁目6番1号

山梨県庁本館6階 農政部担い手・農地対策課

電話番号：055-223-1611

受付時間：月曜日～金曜日（年末年始・祝日を除く）

8：30～17：15

【就農相談】山梨県就農支援センター

住 所：山梨県甲府市宝1丁目21番20号

NOSAI会館3階

公益財団法人 山梨県農業振興公社

電話番号：055-223-5747

受付時間：月曜日～金曜日（年末年始・祝日を除く）

8：30～17：15



山梨県庁外観

山梨県では、令和4年度より山梨県農業経営・就農支援センターを設置しております。

当センターでは、農業者が抱える農業経営の法人化、融資、規模拡大、雇用・労務、販路拡大、円滑な経営継承など経営上の相談内容に応じた専門家派遣の実施、研修会の開催等を行うことで課題解決に向けた支援を行っています。